

(様式 1 - 3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和 3 年 10 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	災害公営住宅家賃低廉化事業 (横堀平)	事業番号	A-2-1
交付団体	大玉村		事業実施主体 (直接/間接)	大玉村 (直接)	
総交付対象事業費	359,656 (千円)		全体事業費	58,389 (千円)	
事業概要					
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている避難者の居住の安定を確保するため、災害公営住宅の家賃の低廉化を行い、入居者の収入に応じた家賃を徴収する。</p> <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none">・横堀平団地					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、浜通り地方の市町村が役場機能を他町村へ移転せざるを得なくなるなど、原子力災害は本県の基盤を根底から揺るがすものとなっている。</p> <p>災害公営住宅は、居住制限者にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、応急仮設住宅等からの移行を進め、居住の安定の確保を図るものである。</p>					
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(別紙)

※生活拠点形成事業等を実施する場所がわかる図面を添付してください。

■ 福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内



(様式 1 - 3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和 3 年 10 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	8	事業名	東日本大震災特別家賃低減事業 (横堀平)		事業番号	A-3-1
交付団体		大玉村	事業実施主体 (直接/間接)		大玉村 (直接)	
総交付対象事業費		49,466 (千円)	全体事業費		5,596 (千円)	
事業概要						
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている避難者の居住の安定を確保するため、応急仮設住宅等に居住する特に所得の低い避難者が円滑に災害公営住宅に移行し速やかに住宅再建できるよう、災害公営住宅の家賃を一定期間、入居者が無理なく負担しうる水準まで低廉化する。</p> <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none">・横堀平団地						
居住制限者の避難の状況との関係						
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、浜通り地方の市町村が役場機能を他町村へ移転せざるを得なくなるなど、原子力災害は本県の基盤を根底から揺るがすものとなっている。</p> <p>災害公営住宅は、居住制限者にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、応急仮設住宅等からの移行を進め、居住の安定の確保を図るものである。</p>						
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						

(別紙)

※生活拠点形成事業等を実施する場所がわかる図面を添付してください。

■ 福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内



(様式 1 - 3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和3年10月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	災害公営住宅整備事業（横堀平）	事業番号	A-1-1									
交付団体	大玉村	事業実施主体（直接/間接）	大玉村（直接）											
総交付対象事業費	14,569（千円）	全体事業費	14,569（千円）											
事業概要														
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：59戸</p> <p>整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>整備手法：建設</p> <p>建設する建物の構造：木造平屋及び2階建て戸建て住宅（59棟）</p> <p>『福島県復興計画（第2次）』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン（平成24年3月）」</p> <p>取組名：快適な住生活の確保</p> <p>取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生</p> <p>原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に400人が生活をして（平成24年1月現在）おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。</p> <p>避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p> <p>【事業内容確定に伴う基幹事業から効果促進事業への見直し】（令和3年10月）</p> <p>事業内容の確定に伴い、道路部局に移管される道路の整備及び、コミュニティ広場について効果促進事業で実施することとなったため、◆A-1-1-2 災害公営住宅整備事業（効果促進事業）（横堀平）へ総事業費22,000千円（国費19,250千円）のうち見直し対象事業費7,431千円（国費6,503千円）を効果促進事業へ切り分けし、総事業費を14,569千円（国費12,747千円）に減額。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">事業内容</th> <th style="text-align: right;">事業費（円）</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路部局に移管された道路</td> <td style="text-align: right;">3,607,293</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コミュニティ広場</td> <td style="text-align: right;">3,824,600</td> <td style="text-align: right;">合計 7,431,893</td> </tr> </tbody> </table>						事業内容	事業費（円）		道路部局に移管された道路	3,607,293		コミュニティ広場	3,824,600	合計 7,431,893
事業内容	事業費（円）													
道路部局に移管された道路	3,607,293													
コミュニティ広場	3,824,600	合計 7,431,893												
居住制限者の避難の状況との関係														
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。</p>														

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和 3 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	9	事業名	災害公営住宅整備事業（効果促進事業）（横堀平）	事業番号	◆A-1-1-2									
交付団体	大玉村		事業実施主体（直接/間接）	大玉村（直接）										
総交付対象事業費	7,431（千円）		全体事業費	7,431（千円）										
事業概要														
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：59 戸 整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内 整備手法：建設 建設する建物の構造：木造平屋及び 2 階建て戸建て住宅（59 棟）</p> <p>『福島県復興計画(第 2 次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】 取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン（平成 24 年 3 月）」 取組名：快適な住生活の確保 取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生 原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に 400 人が生活をして（平成 24 年 1 月現在）おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。 避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p> <p>【事業内容確定に伴う基幹事業から効果促進事業への見直し】（令和 3 年 10 月） 事業内容の確定に伴い、道路部局に移管される道路の整備及び、コミュニティ広場について効果促進事業で実施することとなったため、A-1-1 災害公営住宅整備事業（横堀平）から見直し対象事業費 7,431 千円（国費 5,944 千円）を効果促進事業へ切り分けし、交付対象事業費は 0 千円（国費 0 千円）から 7,431 千円（国費 5,944 千円）に増額。</p> <table border="1"><thead><tr><th>事業内容</th><th>事業費（円）</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>道路部局に移管された道路</td><td>3,607,293</td><td></td></tr><tr><td>コミュニティ広場</td><td>3,824,600</td><td>合計 7,431,893</td></tr></tbody></table> <p>対象箇所</p> <ul style="list-style-type: none">・道路 所在：大玉村玉井字横堀平地内 名称：公衆用道路（村道横堀平団地 1 号線、村道横堀平団地 2 号線、村道横堀平団地 3 号線、村道横堀平団地 4 号線、村道横堀平団地 5 号線） 面積：6,995.86 ㎡・広場 所在：大玉村玉井字横堀平地内 名称：コミュニティ広場 面積：7,438 ㎡						事業内容	事業費（円）		道路部局に移管された道路	3,607,293		コミュニティ広場	3,824,600	合計 7,431,893
事業内容	事業費（円）													
道路部局に移管された道路	3,607,293													
コミュニティ広場	3,824,600	合計 7,431,893												
居住制限者の避難の状況との関係														
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入</p>														

居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-1-1
事業名	災害公営住宅整備事業（横堀平）
交付団体	大玉村
基幹事業との関連性	
当初、基幹事業として事業着手していたが、事業の進捗に伴い事業内容が確定した結果、効果促進事業として実施することとなったため、事業計画の変更を行うもの。	

(別紙)

※生活拠点形成事業等を実施する場所がわかる図面を添付してください。

■ 福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内



(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和 3 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	災害公営住宅整備事業 (横堀平)	事業番号	A-1-2									
交付団体		大玉村	事業実施主体 (直接/間接)	大玉村 (直接)										
総交付対象事業費		2,150,000 (千円)	全体事業費	1,973,832 (千円)										
事業概要														
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：59 戸 整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内 整備手法：建設 建設する建物の構造：木造平屋及び 2 階建て戸建て住宅 (59 棟)</p> <p>『福島県復興計画(第 2 次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】 取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン (平成 24 年 3 月)」</p> <p>取組名：快適な住生活の確保 取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生 原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に 400 人が生活をして (平成 24 年 1 月現在) おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。 避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p> <p>【事業間流用による経費の変更】 (平成 27 年 10 月 30 日)</p> <p>整備戸数の減により、◆A-1-2-2 災害公営住宅コミュニティ広場整備事業へ 37,242 千円 (国費 32,587 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,150,000 千円 (国費 1,881,249 千円) から 2,112,758 千円 (国費 1,848,662 千円) に減額。</p> <p>【事業内容確定に伴う基幹事業から効果促進事業への見直し】 (令和 3 年 10 月)</p> <p>事業内容の確定に伴い、道路部局に移管される道路の整備及び、コミュニティ広場について効果促進事業で実施することとなったため、◆A-1-2-3 災害公営住宅整備事業 (効果促進事業) (横堀平) へ交付対象事業費 2,112,758 千円 (国費 1,848,663 千円) のうち見直し対象事業費 138,925 千円 (国費 121,560 千円) を効果促進事業へ切り分けし、交付対象事業費を 1,973,833 千円 (国費 1,727,103 千円) に減額。</p> <table border="1"><thead><tr><th>事業内容</th><th>事業費 (円)</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>道路部局に移管された道路</td><td>67,431,570</td><td></td></tr><tr><td>コミュニティ広場</td><td>71,493,712</td><td>合計 138,925,282</td></tr></tbody></table>						事業内容	事業費 (円)		道路部局に移管された道路	67,431,570		コミュニティ広場	71,493,712	合計 138,925,282
事業内容	事業費 (円)													
道路部局に移管された道路	67,431,570													
コミュニティ広場	71,493,712	合計 138,925,282												
居住制限者の避難の状況との関係														
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。</p>														

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)
大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和 3 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	災害公営住宅整備事業（効果促進事業）（横堀平）		事業番号	◆A-1-2-3									
交付団体		大玉村	事業実施主体（直接/間接）		大玉村（直接）										
総交付対象事業費		138,925（千円）	全体事業費		138,925（千円）										
事業概要															
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：59 戸</p> <p>整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>整備手法：建設</p> <p>建設する建物の構造：木造平屋及び 2 階建て戸建て住宅（59 棟）</p> <p>『福島県復興計画(第 2 次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン（平成 24 年 3 月）」</p> <p>取組名：快適な住生活の確保</p> <p>取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生</p> <p>原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に 400 人が生活をして（平成 24 年 1 月現在）おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。</p> <p>避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p> <p>【事業内容確定に伴う基幹事業から効果促進事業への見直し】（令和 3 年 10 月）</p> <p>事業内容の確定に伴い、道路部局に移管される道路の整備及び、コミュニティ広場について効果促進事業で実施することとなったため、A-1-2 災害公営住宅整備事業（横堀平）から見直し対象事業費 138,925 千円（国費 111,140 千円）を効果促進事業へ切り分けし、交付対象事業費を 0 千円（国費 0 千円）から 138,925 千円（国費 111,140 千円）に増額。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">事業内容</th> <th style="text-align: right;">事業費（円）</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路部局に移管された道路</td> <td style="text-align: right;">67,431,570</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コミュニティ広場</td> <td style="text-align: right;">71,493,712</td> <td style="text-align: right;">合計 138,925,282</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路 <p>所在：大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>名称：公衆用道路（村道横堀平団地 1 号線、村道横堀平団地 2 号線、村道横堀平団地 3 号線、村道横堀平団地 4 号線、村道横堀平団地 5 号線）</p> <p>面積：6,995.86 ㎡</p> ・ 広場 <p>所在：大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>名称：コミュニティ広場</p> <p>面積：7,438 ㎡</p> 							事業内容	事業費（円）		道路部局に移管された道路	67,431,570		コミュニティ広場	71,493,712	合計 138,925,282
事業内容	事業費（円）														
道路部局に移管された道路	67,431,570														
コミュニティ広場	71,493,712	合計 138,925,282													
居住制限者の避難の状況との関係															
東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。															

災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-1-2
事業名	災害公営住宅整備事業（横堀平）
交付団体	大玉村
基幹事業との関連性	
当初、基幹事業として事業着手していたが、事業の進捗に伴い事業内容が確定した結果、効果促進事業として実施することとなったため、事業計画の変更を行うもの。	

(別紙)

※生活拠点形成事業等を実施する場所がわかる図面を添付してください。

■ 福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内

